

# 担当圏域内にある居宅介護支援事業所のご紹介

## 居宅介護支援事業所ってなに？

船越編

介護の専門家であるケアマネジャーを配置している事業所のことです。ケアマネジャーは、介護が必要な方が、ご自宅で適切なサービスを利用できるように、ケアプランを作成します。

### あき居宅介護支援事業所

検索

あきクリニック心療内科の2階に事務所があります。ご本人やご家族からのご相談をゆっくりと聴かせていただきます。ご相談をお待ちしております。

住所：船越南3-7-12



### サンキ・ウエルビィ介護センター安芸

検索

「福祉事業を通じて地域社会に貢献する」を理念にご利用者様に寄り添う支援を行ってまいります。安芸区役所より徒歩5分です。お気軽にご相談ください。

住所：船越南3-25-38



### 泰山会居宅介護支援事業所

検索

ご本人はもちろん、ご家族との連携を密にとり、安心して自宅での生活が続けられるように微力ながらお手伝いできればと思い頑張っています。

住所：船越6-2-13



### ニックス安芸居宅介護支援事業所

検索

「お客様のために」をモットーに誠心誠意支援いたします。少人数でフットワークの軽い、居宅介護支援事業所です。いつでもご相談下さい。

住所：船越南2-6-6



広島市瀬野川・船越地域包括支援センター

住所：広島市安芸区中野三丁目9-5

電話番号：082-893-1839

FAX：082-893-1866

E-mail：se.fu.chiiki3@jiraku.or.jp



# 広島市瀬野川・船越地域包括支援センター便り

# たれゆえそう

《第5号》 包括便り命名由来：安芸区の花。花言葉は「良い便り」「使者」

みなさま、こんにちは。

時折吹く風に心地よい冷たさを感じる秋を過ぎ、季冬を迎える頃となりました。

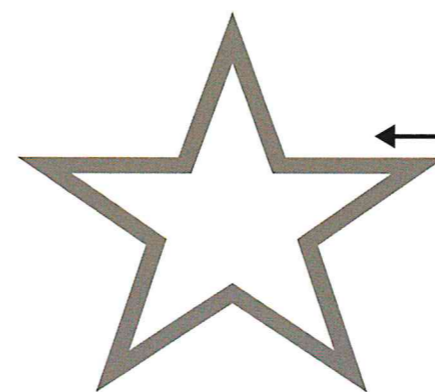
月日の流れも去ることながら、地域包括支援センター便り「たれゆえそう」も、早いもので第5号（令和元年秋・冬号）の刊行です。

5という数字は「構成・中心」という要素が含まれています。私たちの構成を表す言葉に、五感・五臓六腑がありますが、12月という季節を考慮すると、五芒星【五つの角の星マーク】も思い浮かべられるでしょうか。（クリスマスツリーの星であるベツレヘムの星は、厳密には八芒星なのですが・・・）五芒星は中心の守りに優れており、魔を払うという意味合いでも使われています。北海道函館にある、星形要塞の五稜郭も守りに特化した平城でしたが、今は公園になっています。冬は、雪が積もり幻想的な景色名所だそうで、行ってみたいものです。

さて、時代の変遷とともに、守るものは変化していくものですが、地域包括支援センター便り「たれゆえそう」では、「地域で大切に守りたいもの」を皆様のお心に届けられますようにという願いを込めて、今回も耳寄り情報をお伝えしたいと思います。

最後までお付き合いのほど、よろしくお願い致します。

## 脳トレコーナー



星印を鏡に写し  
鏡に写した  
星印を見ながら  
利き手で  
なぞってみよう

かささぎの  
渡せる橋に  
おく霜の  
白きをみ  
夜ぞふけに  
ける

非利き手で  
書いてみましょう



# 畑賀



令和元年7月3日(水)広島市立畑賀小学校の6年生を対象に、認知症サポーター養成講座を開催しました。

グループホームもえぎ野の坂本裕二ホーム長の体験談を交えたとても分かりやすい講座にみんな興味津々♪

子ども達に、色覚眼鏡を使って認知症の方が見ている光景を体験してもらったり、認知症の方にはどのように対応したらよいかを班に分かれて話し合い発表してもらったりと、終始活気に満ちた時間となりました。

畑賀地区では、日頃から高齢者と接する機会がある子ども達が多く、このような認知症について考え理解を深めていく機会を重ねていく事で、将来畑賀地域を支える頼れる存在に成長してくれるのではないかと思います。



高齢者の4人に1人が認知症やその予備軍と言われている昨今、もはや認知症は身近な問題となっています。しかし、周囲の方が、症状や人となりを理解し、見守りや支援をしていく事で、たとえ認知症になっても幸せに地域生活を送る事ができるのではないのでしょうか。地域包括支援センターでは認知症サポーター養成講座を開催しています。認知症に関する知識と理解を持ち、認知症の本人と家族が必要としている支援を、できる範囲で行う認知症サポーターが増え、様々な活動が展開されています。今回はその一部をご紹介します。



～ホップ・ステップ・ジャンプ～

# 舟合走



令和元年7月10日(水)、船越地区社会福祉協議会との共催にて、ボランティア講座・認知症サポーター養成講座を開催しました。町内会長、福祉委員、民生委員、ボランティア部会の皆様が参加し、船越にある介護施設「もえぎ」の職員の皆様にご協力をいただきながら、寸劇を通して、物を盗られたという高齢者や道に迷っている高齢者の対応について、グループで検討しました。

「否定せず一緒に探し、本人が見つけれられるよう誘導したらどうか」「声をかけて、できれば一緒に行ってあげる」などの意見が聞かれました。このような皆様のたくさんの意見を聞くにつけ、認知症に対する理解や対応方法などの知識がより深められてきているように感じました。

# 中野

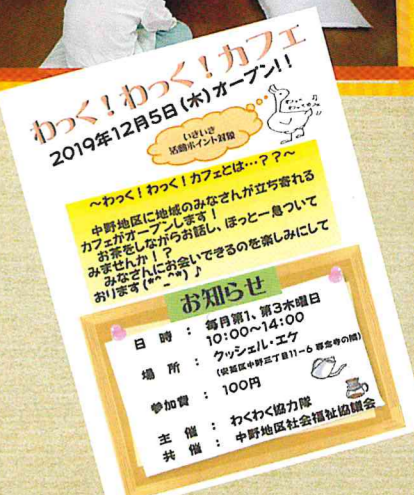


中野小学校区では認知症サポーター養成講座に引き続き、これまでに講座を受講された方々を対象にステップアップ講座を開催しました。

3回シリーズの講座を通して認知症について学び直し、認知症サポーターとして地域の認知症の方を支えるために具体的に何ができるかをみんなで考えました。

さらに、ステップアップ講座修了後も修了生で会議を重ね、12月に誰もが通うことができるカフェ「わっくわっくカフェ」が中野に誕生しました。

月に2回、第一・第三木曜日10時～14時に専念寺横のクッシェルエケにて開催中です。これからの活動が楽しみです。



**わっくわっく!カフェ**  
2019年12月5日(木)オープン!!  
～わっくわっく!カフェとは～  
中野地区に地域のみなさんが立ち寄れるカフェがオープンします!!  
お茶をしながらお話し、ほっと一息ついてみませんか?  
みなさんにお会いできるのを楽しみにしております!!

**お知らせ**  
日時: 毎月第1、第3木曜日  
10:00～14:00  
場所: クッシェルエケ  
(専念寺横) 7月11～6 運営中!!  
参加費: 100円  
主催: わくわく協力隊  
共催: 中野地区社会福祉協議会